夕刊
磐城新聞
九月十一日發行
定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾五錢(郵税拾五錢)
廣告料 普通欄金六拾錢 特別欄金九拾錢 (五號十二字詰一行一回)(指定場所 一行 一回)
編輯印刷兼發行人 鈴木 一郎(?)
福島縣石城郡平町 田町十六番地
發行所 磐城新聞合資會社
登錄及電略(タイライワキ) 平局私書函第十二號 電話五六四番
(日曜祭日翌日休刊)

雲に乘つた洋傘

中野時雄

三

洋傘は馬鹿〳〵しくなりました。あんなちつぽけな奴を相手に本氣に話してゐた事が後悔されました。同時に自分が甘く見られた樣に考へられていま〳〵しくなつて來きました。

暫くすると、風一つない庭前に突然物凄い土煙が立上りました。恐ろしい勢でそれは、はづみ車の樣に廻轉すると、螺線狀に、空へ空へと上つて行きます。アッと思ふ間もなく洋傘はクル〳〵〳〵〳〵と空中へ引上げられました。縱横上下のかまひなく、苦〳〵に揉みたくられて、目と言はず、鼻と言はず、身体の凡ゆる所へ、機關銃の樣に打ちつけられました。それでも洋傘は夢中でした。放射形に空に開いた土煙の中を螺線を描き乍ら籾や木の葉や、土塊と一緒に上へ上へと昇つて行つたのでした

氣がついた時には、隨分高い空の世界に居るのに、先づビックリしました。見下すと、ヅーッと遙かの下の方に、點々と森があり籾粒の樣な家の並んだ部落の側を大河がユルク銀色に光つてゐました

これだな

と洋傘は考へました

俺は飛んだのだ。と思ふと嬉しくて嬉しくて堪りません。然も未だ恐ろしい勢で上へ上へと昇つてゐるのではありませんか。

よく見ると、居る、居る、居る、雲の塊が、そつちにもこつちにも、ゴロ〳〵寢たり起きたりして洋傘を見て笑ふ者もあれば、馬鹿にするものもあり、そつぽを向いて煙草を吸つてゐる者もあります。中に、眞向から打つかつても何とも言はずに平氣で行き過ぎる雲があるかと思ふと、ブ〳〵言ひ乍ら駈けて行くのもあります。鬼ごつこをしてゐる小雲や、布團から首だけ出した雲などを、グン拔いて行く洋傘は本當に心から萬歳をやりたい樣な氣分になつてゐました。今まで馬鹿にされてゐた雲を足の下にした、と思ふと何とも言へない愉快さを覺えたのでした。

『何だッ貴樣はッ』

突然彼は襟がみを掴へられました。何時の間に來たのか、眞黑い角を生やした目ばかりギョロギョロ光らした人相の惡い鬼雲が、グルッ〳〵と周りを取卷いてゐます。

『何用があつて來たと言ふんだッ』

その聲はツンボになる程大きいのです。洋傘はちゞみ上つて、一生懸命逃げ上ろうとしましたがどうしたのか一寸も身体が動かないのです。

『生意氣な奴だッ此方へ來いッ』

鬼雲達は洋傘の手足や胴を、一緒くたにかつぎ上げると、ワッショ〳〵横の方へ走り出しました。

『勘忍だ、勘忍だ』

洋傘は悲鳴を上げながら身を揉みましたが、とても問題にはなりません。その中に眞黑な袋の中へドシンと投げ込まれると、ゴチャ〳〵におつ轉がつてその上から金棒で撲りつけられました。

『まだ〳〵、くせになる』

と言つたかと思ふと、ザーッと大水を頭からぶつかけられました。洋傘はもう息もつけない程弱り切つてゐると

『これで、下界へ拋り出して失鋒へ』

親方らしい雲のドラ聲があつたかと思ふと、フワーッと身体が浮き上の方にワッハヽヽヽと笑ふ聲がしました。

早い、早い。

目が廻る樣です

先程通り拔けた、數へ切れなかつた雲の塊がたつた一つしかない樣でした

その雲の層を拔け切つて洋傘は遙かに廣くゆるやかに擴つた大地の上に、一直線に墜落して行きました

磐新歌壇

小山田滋選

『しろき食卓』　長町　えい子

○隧道の闇をいでたる斷崖の草にうるほふ露の桔梗
○水色の空きはやかに風松のみどり光りて遙けき青田
○もてなしのすゞしき君がみこころにうるほひ足りぬ雨さへふりて
○しのびきてそよめく宵き蘭の風しろき食卓の宵をすゞしむ
○ひな唄のこゑ遠ざかりゆく垣に夏ほのじろき隱元の花

潮聲硯抄帳

雜詠　當季　岡本機卿選

氷嚙む奥齒のしみや涼み台　雪水
蚊帳うれし松をもれ來る月の影　逸朗
海に向く洞穴深し磯の貝　翠山
ひとりゐに炎暑を避けし溫泉宿哉　石城
旱つゞく水田けしき俺鉄かな　芳月
病院のカーテン透なり夏小雨　長貴
宵涼し灯をちりばめし池の面　眞砂常
鹽を飼ひて夜も更け易くなりにけり　枯萍

秋

——夏井　鵜沼深水——

おゝ澄きつた空よ
遠き三山よ
ポッカと浮く白雲
ツッと肌刺す行く風
ぽつたりと重い朝露
黄金を荷つた實り
乙女の唄曲の如く
地靈の虫の音
おゝ秋だ
秋……秋……秋
大自然は呼吸してゐる

愈々明十二日より

次回講談 **幕末神風組**

土生太郎氏作　高根秀治氏畫

梗概

榎本武揚、彼は幕府海軍副總裁の地位にあつて、當時の武士達が阿諛的に——勤王の大義——を口にして、その實のよい事に、深く反感をもつた。彼は北辰一刀流の達人淺野隼人と結んで、所謂勤王派に對立してゐた。當時所謂勤王黨に神風組と稱する一派が、斜眼流の棒の遣ひ手御木本九十太を首領として、絕えず淺野一派と衝突する

淺野隼人は、先幕派の——巨星近藤勇——と氣脈を通じて、事毎に口先き尊王家の殺戮に從ふ、御木本派に加擔する間島の與力上總屋藤七と、榎本派の手先きを勤める常陸屋佐吉との間にも常然確執があつた

八丁堀の料亭『銀月』の藝妓染香は、人知れず榎本の男らしさに戀してゐた。そして——武骨一偏の——榎本の心を促へんために表面御木本派に投じて、盛んに活躍する。時、榎本は一擧幕府の軍艦五隻を盗み出して、函館を占領し、遂に朝廷から軍を派せられるに及んで屈服し、王政復古の曉は海軍の重鎭となつて王政復古後に至るまで恩を蒙る舊幕臣に——膺懲の刄を——見舞ひ乍ら、大江戸を西から南に東から北に馳驅する彼の活躍は走馬燈の如く展開して、劍戟と情熱との華々しき最後を閉づることになる。幕末風雲秘史の一頁に章を追ふて興更に新奇なる大衆讀物の白眉篇である

講談　劍火無情

(116)　津屋競人作　菅野祐作畫

噫若狹街道（六）

秋岡丹三郎は、田岡大角坊と打合せ、玉五郎等三人に命じて松子、時子の爲に一意專心血路を開く事に努めさせた

其効あつて二人は漸く三百の圍みを脫し、漁師町の海溜を西へ〳〵と遁れて若狹街道へ出る事を得せしめた

『女二人の姿が見えんぞ』

『西だ〳〵、西を追へ』

隊士は斯う叫んで、一隊が追跡しやうとするのを大角和尚は何處から引拔いて來たか、松の木の根こぎにしたのを持つて一隊の前に立つて振廻した

『大坊主が荒れ出したぞ』

彼等は唯一人に恐れをなして追跡中止となつて了つた

兩女の姿の見えぬに安堵した五人は、言ひ合はさぬがソレと許り手段を變へた

それは敵に激しく衝つては少しく隙を作り隙を作つては退く事であつた。ヂリ〳〵下がりに退却の方法を取つて、遂に五人とも闇に姿を沒して了つた

『此上は八方に手分けして彼等七人の男女を引捕へろ』

斯うは言つたものゝ彼等の腕前に恐れを抱く隊士は吾れ討ち取つて手柄にせんとする者がなかつた

『御用』の高張提灯は騎馬の隊長と共に四散した

いつか夜は更け渡つた。

若狹街道衆野の六地藏に引揚げた秋岡丹三郎は跡から續いて來る大角坊、結城の玉五郎、五平太、民五郎等の勞を謝して

『ヤお庇で婦人二人の血路を開く事が出來て忝けない』

大角坊は行手の方を見つ

『何處まで落ちたか、山へ入つたか、海傳ひか知らぬが京へ入るには此の道は面白くないが、一時是より手段がなかつた』

俠客三人は皆言つた

『吾々が助けなくてもあの方兩女は落ちられますよ。』

『何しろ恐ろしい働きでしたね』

『何しろ大の男五六人が一人の女に斬捲くられるんだから……』

『薙刀も能く使ひなすつたが刀も能く切れましたよ』

大角坊は再び行手を指ざして言つた

『向ふに何うやら寺らしい屋根が見える、僧形の俺が圓い頭同士ぢや、叩き起して坊主がゐたら賴んで彼處で湯茶でも貰つて暫時休息としやうかな、能くは判らんが庵室めいた廣くもない建物だ』

大角坊は獨り走つて其庵室に入つた。灯がないので燧石を打つて、用意の小臘燭に灯を點したが常に似ぬ慌たゞしい叫び

『丹三郎來いよ、一大事出來ぢや、皆早く來いよ』

何事かは知らず、四人も飛んで庵室に入つた。住む者もない荒れた中に驚くべし田丸松子と時子の二女は刺し違へて鮮血に滴たる中に事切れてゐた

丹三郎は思ひ設けぬ愛妻の死に暗涙を吞みつゝ

『兩人とも美事な最期、斯くするべきであらう。愛する武田耕雲齋の死、慈愛深き父の死に何れも其際を蒙つたるか』

大角坊、殊勝げに珠數爪繰つて二つの骸に回向をした

玉五郎は男泣きに泣いた

『死なすと可さうなものゝ……だがお二人樣とも死期をお急ぎなされたは決して無理とは存じませんが、せめてはお孃樣は秋岡の旦那に會つての上で……』

大角和尚は言つた

『丹三郎が父に從へと言つた一言から再び良人に會はずして死を急いだもの。アヽ不愍な事をした』

『時子さんも人の妾として是程の貞操な者は世間に二人とはありますまい』

民五郎も斯ふ言つて五平太と共に合掌してゐた

×

三年を經て後、市川三左エ門其他五人は水戸城下で何者かに暗殺されてゐた。其暗殺者は秋岡、田岡で外に梅津要之助も加はつてゐた。

（完）

社會の今日

9月12日

△帝都復興の詔勅降下(大正十二)△露國官憲鮮銀支店爲替取引を禁止事態を引起す(昭和五)△訪日佛機ウラル山附近に墜落ル、ヌ兩氏慘死す△淺間山また大爆發△イタリーでもストロムボリ島火山大爆發!(同六)

○

長き夜の法話に欠伸勿体なや　不知郎

下らない安原稿を書いてゐる、前にしづかな妻子の寢顔　安成二郎

。。。。。**消防應援手組織** 內郷村高坂御殿山附近商業組合では同村第五部消防組應援手を組織しポンプ一臺を購入近く右發會式を擧行する

寶生流素謠會 寶生流素謠會は九、十の二日間晝夜三回に亘り平町住吉屋支店に於て開催、出席三十餘名仙臺から權威石川師範臨席盛會であつた、尚來月は二十一日に開く豫定であると

。。。。。**驛長榮轉** 四倉驛長二階堂寛氏は一昨九日附を以て東北本線瀨上驛へ榮轉不日出發赴任するが氏は昭和二年三月來任以來五ヶ年有餘其間町發展のため努力した功績少からず一般から其の轉出を惜まれて居る因に後任は本局庶務課館彌郎氏である

。。。。。**滑井場地藏賑ふ** 炭鑛街唯一の盛り場たる綴坑ヶ井場地藏尊祭典は昨十日執行餘興の仕掛け花火、棒踊り等で大賑ひであつた

新九月十二日 火曜　舊七月二十三日　辛巳　大安　成　觜宿

諸判定應需　東京市本郷區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神〔?〕館

▲一白の人　花々しき進境は無けれど眞面目なれば有利▲二黑の人　不安の念のみ起り集中力を失ひ物事成らず▲三碧の人　順風に乘り出して不安なく目的地に到る日▲四緑の人　坂路に車をひく如く力綴めば足元らんとす▲五黃の人　平康を失ひて困苦を生ずべき日輕動を戒む▲六白の人　勢に任せて我意につのれば大失敗を招かん▲七赤の人　四圍の形勢を洞察して應分の對策を取べし▲八白の人　要心堅固にもすきの生ずる恐あり油斷は大敵▲九紫の人　運氣旺盛にて窓の如く諸事發達を遂ぐべし

平町慶弔錄

△出生　南町六九仲井常男氏二男政守君
▲死亡　研町一ノ一七齋藤鶴松(四八)氏　五町目二〇東京小人市大森九丁目四八〇十丹野弘次郎(五)君　鍛治町一四東京中澁谷鷹ヶ谷本町二丁目二〇瀧山キ(六)さん　新川町三神奈川縣川崎市小田一三九七岡野クラ(五)さん

貸切ノ御用命ハ イツデモ眞先ニ(松崎ニ) 三九二タクシーへ (デンワ、ミクニ)

外務社員採用
初任固定給月三十圓
廿五才以上 男女を問はず
履歷書携帶左記へ 面會毎日午后
平町田町一七 レストランサロン方
仁壽生命平駐在 吉田仁三郎
電話三五二番

店員大募集
裁縫師數名
外交員數名
見習者數名
平町三丁目 佐川洋服店 電四一八番

生花教授
池ノ坊流
お遊びがてら御出で下さい。生花を懇切丁寧に御教授いたします、
平町四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

お醬油は……ヤマフル
鹽屋
味噌醬油 たひら正宗 鰹節食料品
山崎合名會社
福島縣平町
電話(營業部一〇番 本店二七番)
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

生徒募集
磐城女子洋裁專門學院
奥樣方の爲め持に隨意科が設られてあります。
毎日定期に通學の出來ない方々の爲の回數劵制度……
入學毎月初日
(此の際入學者は隨時入學を可す)
ミシン無料貸與(材料貸與の方法あり)
平町白銀町五十番地
(詳細…學則郵劵二錢)

恐ろしい疫痢の流行期!!
○毎年六月始めより十月と申します。
○死亡率統計百人中六十五人以上として居ります。
まづ豫防に經口免疫の北里研究所製造疫痢內服ワクチンを
○價格 幼兒一人分三十錢 大人一人分五十錢
(文献進呈)
特約店 西村屋藥局 平 電二・三

石炭
コークス
玉炭
平驛前
阿部石炭商店
電話三七番

日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社重油特約店
關彰商店平支店
電話六一番
本店 水戸線下館驛前 (電話五五番)
支店所在地
茨城縣土浦町出宿(電話六五三)
常磐線關本驛前(電話中窩五四)
常磐線四倉驛前(電話四八)
營業種目
石油、輕油、重油、モビール油、シン油、機械油類、胡麻、種水、植物油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ
◇安全、便利、經濟のスタヂリナ石油コンロ
◇完全燃燒のネンショース・トーブ
(型錄進呈)

月曜論壇

舊盆と警察禮讃

地方の最大年中行事たる舊盆の喧騷は昨今漸く終りを告げ世は全く所謂正常復歸の靜謐に歸したが顧みて吾人の以て愉快の念を禁じ得ざるは擧町鼎沸の三日間を通じて眞に無事平穩從來往々行はれたが如き街頭乃至酒場等に於ける喧嘩沙汰の絶無なる事であつた。斯くして老幼男女のお盆大衆は[illegible]上何等の不安恐怖ある事無く歡然として遺憾無く盆氣分を滿喫する事が出來たのである

曩に舊來の殼を破つた特別警察[illegible]の編成が克く幕夜[illegible]し南街の醉鬪柔[illegible]波紋を捲き[illegible]の跋扈跳[illegible]制[illegible]た横山署長の明敏を謳歌した吾人は茲に再び同探題によつて試みられた舊盆中の而も最も機宜に適した取締り警戒の措置に就て衷心の禮讃を繰り反す事を以て喜びとする

開說。舊盆中の入出に伴ふ不健全分子の蠢動を豫期した當局は豫め黑表中の所謂――暴行鬪爭其の他公安を害するの虞ある者に對し之を豫防する爲必要なる―措置に出たとの事であるが斯の如きは從來一部に行はれ來つた實在既發の事件に關し始めて受動的に泥縄式の周章を敢てした其れとは根本からその觀點を異にし事前に於て夙くも死物たる法を最大限に活用したものとして吾人の敬服措かざる處である

今茲に擬律の根據を詮索するは素人たる吾人の云爲すべき領域では無い、即ち舊盆に直面して行はれたる警察當局の措置に就ては其間異論絶無なるを保し難いものあるにせよ、法に據て權利を保障せられ義務を強いらるる吾人は所謂法治國民たるの故を以て終始一貫法の保護下に平安なる生活を續け度く念願するもので條文の末に膠滯して動きの取れぬ法の運用などは斷然當世向と云ふ事は出來ぬ

横山署長の自由加餐を祈る

斷然內鄕軍再び優勝す
平町惜しくも第三位となる
昨日の郡聯合青年團体育大會況

郡下粒ね(?)り廿六分團二百一名參加の第十回郡聯合青年團体育大會は昨十日の日曜をトし午前九時半から磐中グラウンドに於て小檜山磐中校長の開會の辭に次ぎ審判長下山田教諭の注意あり、直に競技を開始したが朝來快晴新秋の氣飽迄澄み渡り絶好のコンデションに各選手の意氣は愈々上つて一大熱戰を展開した結果、陸上は三十六點で內鄕再優勝、武道は七點で豊間凱歌を奏し無事盛況裡に午後三時二十分閉會した

△百米1草野仁(小名濱)一一秒四2中江川明(內鄕)3柏原武三(大野) △四百米1米河江武雄(內鄕)五五秒九2伊川雪夫(湯本)3滯井七郎(好間) △千五百米1小坂梧新一(內鄕)四分三十一秒四2佐藤福藏(湯本)3小野初太郎(渡邊) △一萬米1關場喜中次(湯本)三十七分十秒2吉田菊美(泉)3渡邊明(小川) △砲丸投1西山清富(內鄕)十米五2丹野清(大浦)3佐久間芳夫(上遠野) △走巾1溝井三治(入遠野)六米四一2佐藤乘助(平)3佐藤喜雄(湯本) △俵擔1永山源一(內鄕)三十三秒九2柳井五郎(小川)3吉田朝次郎(泉) △千米瑞典競走1內鄕二分十三秒2湯本3好間 △走高1鈴木武雄(內鄕)一米七五2大場操(泉)3草野道雄(湯本)

得點

(陸上)三六內鄕、二六湯本、一三平、一一泉、九好間第一、小名濱、七小川、五四倉、四渡邊、二大野、上遠野

(武道)七豊間、六內鄕、四倉、五飯野、四小名、夏井、三上遠野、草野、二平、大野、好間、一渡邊

一般不成績
今大會の記錄

今大會は期待に反して成績一般に香ばしくなく小名濱の草野仁君が自分が出した郡及縣百米一一秒四の再記錄を見たのみで他は何れもその域に達しなかつた

內鄕選手優勝奉告

見事優勝の內鄕青年團選手一行十四名は大會終了後午後五時綠川團長を先頭に縣社八幡神社に參拜優勝の奉告をなし本町通りを一週同午後五時六分綴着歸村綴驛頭は大した戰勝氣分に滿ちてゐた

小學校長會

郡下小學校長會は今十一日午前十時より平第一校に開き左の諸項を協議した

東部聯合教育會代議員候補者選定に關する件、會我校長へ記念品贈呈の件、女子青年團基本調査の件、教員履歷書の件、滿鮮視察員選定の件、郡下兒童競技會期日變更の件

平局野球軍郡山遠征
三市局の強豪と對戰

福島、若松、郡山、平四郵便局對抗野球試合は來る廿一日秋季皇靈祭當日郡山市安積中學校グラウンドにおいて擧行される事となつたが平局軍のメンバー次の如し

田村井藤神野野邊坂 母
櫻木酒佐田小草渡早
投捕123遊左中右

磐女庭球競技兩選手
神宮豫選に出場
目下練習に精進中

磐女庭球部前田―戶來、熊―渡邊の二チームは來る十七日福女で開かるゝ縣下女子中等學校明治神宮豫選及オールジャパン豫選に同校競技部では來月七日同校で開かるゝこれ又神宮豫選に出場する事に決定各教諭指導の下に猛練習を續けて居るが競技の種目左の如し

百米、二百米、二百米繼走、四百米繼走、八百米、走巾跳、走高跳、三段跳、棒高跳、圓盤投

鐵道關係の四十名が
磐炭坑內外視察
荒井局長以下來郡

水戶、宇都宮鐵道管內現業委員約四十名の一行は來月九、十の兩日水戶に開かるる現業委員會終了後荒井東鐵局長引率の下に十日午後一時四十六分綴着列車で來郡磐城炭鑛の坑內外を視察すると

卅萬の巨費を投じて
綴住吉兩坑連絡開鑿
大に完成後を有望視さる

磐城炭鑛では今將約三十萬圓の豫算を以て綴坑から住吉坑に至る斜坑を開鑿することゝなり土地買收其の他の準備に着手したが右は住吉坑區內の石炭を發掘するのが目的で完成には今後二年を要すべく埋藏炭量も多い丈け大に事業の前途を有望視されてゐる

高坂本坑排水進捗

從來收支の採算上休坑中であつた磐城炭鑛高坂本坑は最近の好況に惠まれ愈々之亦復活することゝなり目下全機能を發揮し坑內の排水作業中で近く採掘に取りかゝるものと觀られてゐる

。。。。。三井復活計劃 磐崎村大字藤原所在三井炭鑛も最近復活計劃が立ち諸般の計劃を進めてゐると

室翁謝恩會

來月上旬記念試合 磐城劍道協會では小野元磐中教諭、平署鈴木部長等有志發起で從來殆どその全生涯を地方武術界のため貢獻し現[illegible]八十八才の高齡を以

事變記念 靑訓演習

平靑訓では來る十八日の滿洲事變記念日當日訓練生五十餘名が市街戰演習を行ふと

初秋繭終末

四倉市況漸く沈靜 昨十日の四倉繭市場は愈々初秋蠶の終末に近づいた爲め出荷僅に八十五貫で相場も最高三十八圓五十錢、最低三十六圓五十錢、買馴三十七圓三錢に過ぎなかつた尚晩秋蠶は早きは既に上簇し十五日頃から出廻る見込である

平商就職斡旋運動
各方面へ依賴狀發送

來春三十八名の卒業生を出す平商では矢野校長の名で左の如き意味の依賴狀を地方各鑛商店を初め東京三菱、三井、三越の大商店等に發し昨年同樣百パーセントの就職好績を擧げるべく努むる事になつた

毎年卒業生に就ては格別の御高配を煩し恐縮です明春三月には約四十名の卒業生を出す豫定ですが當校では時勢の進運に伴ひ教養と諸般に渉り鋭意改善を圖り幸ひ優良なる成績を擧げ社會の期待に副ひ居りますが新規採用に際しては特別の同情により是非詮衡下され度く 下略

入山平商を屠る
昨日曜の庭球戰績

平商對入山の庭球試合は昨十日入山コートに於て擧行したが戰績左の如く入山優勝した

一回戰
平商 入山
(篠原田口)○―四(神智泰樂)
(塚本木田)四―三(小林原)
(岩佐深谷)二―四(松本福田)
(鈴木小林)一―四(長谷川岩倉)
(安齊木田)四―一(飯塚阿久津)

二回戰
(塚本小林)四―一(佐々木比佐)
(鈴木本田)四―二(渡邊松井)
(塚本本田)四―一(越智泰安)

(安齊木田)四―○(松本福田)
(塚本本田)一―四(長谷川岩倉)
(安齊木田)二―四(同)
(塚本小林)三―四(同)
(鈴木本田)二―四(同)

全植田捷つ

本縣對抗軟式野球大會は九、十兩日植田小學校で擧行したが參加七チームで大接戰の結果オール植田軍が優勝した

準決勝
植田14―8勿來
湯本7―1南中鄕

決勝
植田2―1湯本

水高入山磐中 競泳會

茨城、水高、磐中、入山各水泳部の對抗競泳會は來る十七日午後一時から入山[illegible]鑛プールに於て擧行する

五氏正式裁判を仰ぐ
箕輪の選擧違反本格に入る

箕輪村會議員選擧で過般略式罰金に處せられた小沼末造(百圓)吉田喜一郎(六十圓)高萩依宣(五十圓)小沼延伴(同)小沼才太郎(三十圓)の諸氏は今十一日大嶺辯護士を代理人として正式裁判を申出た

平商懇談會

平商では今十一日一學期の成績劣等生廿四名の父兄を招ぎ成績向上の打合せをなした

當夜美の覇王は
艶麗な電氣燈籠
冷涼の鎌田橋附近人の渦

一昨九日の宵行はれた平町鎌田青年分團主催の流燈會は好天氣と土曜に惠まれて橋上及河岸は早くも宵の口から立錐の餘地なく大小色とりどりの小燈籠が夜の水上を辷る美觀例の如く大觀艦式、空中爆彈投下、肉彈三勇士等、等の仕掛花火あり同九時向鎌田出身東京駒澤佛教大學生高木補教君の講演あり盛況裡に閉會したが入賞燈籠次の如く一等の牡丹燈籠は電氣裝置の廻轉式で該催しに於ける最初の珍趣向であり鎌田の好評流し1(牡丹燈籠)三丁目大谷時計店2(發電丸)磐城發電所3(新興日本)三丁目三井呉服店4(西瓜)三丁目高木屋本店5(日蓮上人)七丁目小野久商店6(鎌田號飛行機)鎌田町セメント死店7(三原山)月見町丸本製作所8(供養タンク)南町小林商店

在米三萬石
平支所調查統計

穀物檢查所平支所の管內在庫米調查は此程終了したが總石數は三萬二千四十六石で內譯左の如し

△勿來出帳所(二町五ヶ村)八千六百三十四石△四倉(一町二ヶ村)四千六百八石△平(二十五ヶ町村分)一萬八千八百四石

米價保合

大浦農業倉庫米穀共同販賣は去る六日執行出荷計二百五十俵で四等米建値八圓二十錢で四倉町渡邊留五郎氏へ落札したが前回八月二十五日と同値である

湯本內鄕深夜の警戒
昨曉平署の非常召集
無事平穩裡に了る

平署では昨十日午前零時突如非常召集を行ひ同午前五時にかけ湯本は菊地警部補以下約十五名、內鄕横山署長以下約三十名の二班に分れ兩町村に亘つて深夜の大警戒をなし十日午前五時終了、一同磐炭記念館に集合磐炭幹部村有志と朝餐を共にし散會したが同夜內鄕班には四五名の不良青年が網にかゝつた丈けで別段の捕りものが無かつた

捕賊賞與傳達

平町新町香具師藤太一郎、平驛機關庫機關手田村次郎、同助手大山庄松、鈴木喜作、同町田町屠肉商敏實氏二男藤二郎(二九)君の諸氏は犯人逮捕の功に依り八日縣刑事協會から金一封に添へて表彰され今十一日平署から傳達された

第一教員退職

平第一校手工圖畫科擔任齊藤利彥氏及同校三年二組擔任坂內キノ訓導は何れも一身上の都合に依り一昨九日附退職をなすと

齊藤氏 東京美術學校圖案科出身で今年一月同校に奉職、退職後は上京年來の希望たる美術方面の研究に精進し傍ら水彩、肖像畫の揮毫にも應ずると

坂內氏 大正七年春本縣師範卒業鄕里の會津木幡村小學校から大正十三年四月同校に轉じた人、昨年女子教育會創立と共に副會長に推され今日に至つた溫厚な女流教育家である

百澤家寄附

平町四丁目百澤才八郎氏は亡父追善の爲今十一日小學校基本金へ百圓共濟事業助成會へ五十圓の寄附採納方を願ひ出た

平陽校バザー

平陽女學校第九回バザー展覽會は例年の如く飯野八幡の典日である十四、五の兩日開催即

平三小學新級長

平第三小學校では今十一日左記十八名の級長任命式を擧行した

(三ノ一)木村康、阿部幸子(三ノ二)菊地喜之雄、青木藤枝(三ノ三)橋本孫四郎、飯澤キヨ子(四)寺內武彥、吉田眞、永島佳子、影山サト(五)松崎惣兵衛、白土貞子、川崎初子(六)植村力夫、諸橋富彌、高田秋子、高萩秀

江名道路陳情

江名町では同町上神白から小名濱町に通ずる縣道が最近頻繁な自動車の往來で破壞し降雨毎に泥濘甚しいので明年度匡救事業として改修方を河野町長が九日出縣陳情した

柔道審查會

石城柔道有段者會審查會は來月中旬磐中に於て開かれるので磐中、平商在學生及卒業生の希望者が出席すると

泉農事講習會。。。。十八日午後一時から小學校で

磐女職員會。。。。今十一日午後二時から開き秋季運動會及バザー開催の日取りを協議した

平區だより

賭博。 双葉郡龍田村大字井出濱字小田魚行商野崎ツル(五六)は去る七月二十七日同村山本亀三郎方に於て柴田寛藏外數名と共に賭博開帳罰金四十圓

傷害。 平町田町昭和タクシー方運轉手岩原宗助(三三)は去月十五日神谷村[illegible]地內に於て南町芹澤高雄と口論の末全治一週間の打撲傷を負はせ科料十圓

脫稅。 平町字南町七一[illegible]子南柴田水司(三〇)は去る一月廿七日記載高十二圓六十錢の通帳に所定の印紙を貼付せず科料三圓

密漁。 江名町仲の作第三明治丸船長吉田義勝(三六)及船員吉田卓藏(五七)の兩名は去る五月十五日午後一時頃底曳網漁業禁止區域內である四倉三哩沖合で漁獲罰金各八十圓

胡鼠。 內鄕村宮士工秋山畑夫(四九)は七日午後二時頃磐炭ズリ捨場から銅線其他八貫匁を窃取同村古物商大越彌太郎に賣却して昨十日平署に檢擧された

家出。 東京市日本橋區通り二丁目二二八山田清子(三三)さんは去月三十日中町の友人を尋ねると家出の儘なので昨十日平署に搜索方を願ひ出た

[illegible]。 ルンペン福島市早[illegible]二六七加藤末藏(三六)は[illegible]鄕の途中旅費に窮し[illegible]日平署に[illegible]貸與[illegible]

ヂフ。 飯野村下荒川相川幸太郎君(六)は昨十日ヂフテリアと決定した

難波醫院
平町新川端櫻堤
內科 小兒科
醫學博士 難波 陞
電五〇二
(…入院隨時…)
看護婦募集

日の出磨粉は
ニユーム、眞鍮、ニツケル、銅、クローム、砲金、洋白瀨戶物、油物食器、鏡、硝子、自轉車、自動車其他何でもキレイになつてお手をうろサズ必ず御氣に召します。
日の出磨粉は極少量で而も短時間キレーになします。是非おためし下さい。
平町白銀町大香堂向
特約店 芳賀商店

謹啓亡父易興儀葬送の際は御鄭重なる御弔詞並に御香奠を賜り且遠路の處御會葬被成下御芳志の段難有奉深謝候實は一々拜趨御禮可申述の處乍略儀以書中御挨拶迄如此御座候

昭和八年九月十日
平町四丁目
喪主 百澤才八郎
外親戚一同